

公共施設等LED化改修業務（ESCO事業）
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和6年6月14日

公共施設等LED化改修業務（ESCO事業）
公募型プロポーザル審査委員会

1 募集及び選定

(1) 募集及び選定の方法

本市が発注する公共施設等LED化改修業務（ESCO事業）委託について、公募型プロポーザル方式により優先交渉権者を選定するため、学識経験者1名、市職員6名（副市長及び業務に関連する担当部長）の計7名で構成する公共施設等LED化改修業務（ESCO事業）プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置しました。

募集にあたっては、公共施設等LED化改修業務（ESCO事業）公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）、要求水準書、審査基準を定め、本事業への参加を希望する提案事業者を公募しました。

提案事業者から提出された企画提案書等については、実施要領に基づき、事務局が資格要件の確認を行い、審査委員会が企画提案書等の内容を審査しました。提案書の内容の審査にあたっては、提案事業者による提案プレゼンテーションを実施しました。

(2) 募集の経過

1	プロポーザル実施公告	令和6年 4月 1日（月）
2	参加表明書等の提出期限	令和6年 4月22日（月）まで
3	参加資格確認結果の通知	令和6年 4月26日（金）
4	質問書の提出期間	令和6年 5月15日（水）まで
5	質問書に対する回答	令和6年 5月21日（火）
6	辞退届の提出期限	令和6年 5月27日（月）まで
7	企画提案書の提出期限	令和6年 5月31日（金）まで

(3) 審査委員会

① 審査委員

審査委員会の構成は、次のとおりです。（敬称略）

職 名	所 属		氏 名	
			令和5年度	令和6年度
委 員 長	酒田市	副市長	安川 智之	安川 智之
委員長代理	酒田市	総務部長	前田 茂男	前田 茂男
委 員	酒田市	企画部長	中村 慶輔	中村 慶輔
	東北公益文科大学	公益学部長	三木 潤一	三木 潤一
	酒田市	市民部長	村上 祐美	村上 祐美
	酒田市	建設部長	中村 良一	菅原 泰寛
	酒田市教育委員会	教育次長	池田 里枝	堀賀 泉

② 審査委員会の開催経過

審査委員会は、次のとおり開催しました。

	開催日	議 事
第 1 回	令和 6 年 3 月 2 5 日 (月) ~ 3 月 2 9 日 (金) 書面開催	(1) 公共施設等 L E D 化改修業務 (E S C O 事業) 公募型プロポーザル実施要領について ①実施要領の内容について ②要求水準書の内容について (2) 評価基準について ①評価方法の考え方について ②評価基準の点数配分について (3) その他
第 2 回	令和 6 年 6 月 7 日 (金)	(1) 企画提案者による提案プレゼンテーション及び 質疑応答 (2) 優先交渉権者の選定 (3) 審査結果公表について

2 選定の結果

(1) 応募状況

令和 6 年 4 月 1 日に実施要領等を公表し、令和 6 年 4 月 2 2 日の参加表明書等の提出期限までに、1 者から提出がありました。

(2) 審査項目等

① 参加資格要件の確認

提案事業者が、資格要件を満たしていることを事務局（酒田市総務部財政課）が確認しました。

② 企画提案書等に関する審査

提案書の内容の審査にあたっては、提案事業者による提案プレゼンテーション及び質疑応答を実施し、その結果を踏まえ、審査委員会にて企画提案書等の内容の審査及び評価を行いました。

(3) 審査の経過

書面による審査、プレゼンテーション審査及び質疑応答を実施し、選定委員会で評価を行いました。今回は応募者が 1 者であったため、受託能力があるかについて、評価点が配点合計 100 点のうち 65 点を超えるかどうかで判断しました。

委員評価の平均点 71.0 点/100 点

(4) 優先交渉権者の選定結果

審査委員会は、提出された企画提案書等の内容を審査した結果、受託能力があるものと

判断し、次の事業者を優先交渉権者に選定しました。

優先交渉権者 東芝エレベータ共同事業体
(代表事業者 東芝エレベータ株式会社東北支社
構成員 株式会社ベストサポートシステムズ)

(5) 企画提案に対する講評

- ・施工体制について、提案プレゼンテーション時点での一次下請けとなる施工協力予定事業者が工事規模に対して少ないように感じられた。安定した施工協力体制の構築及び市内施工事業者の参画拡大に努めていただきたい。
- ・道路照明について、工事完成後の市維持管理を考慮した提案があり、物価高騰など情勢が厳しい中、調整いただいたものと評価できる。

(6) 総 評

令和4年度募集の酒田市民間事業者提案制度において、地域脱炭素化を図り施設運営経費を低減させるため市公共施設等の「ESCO事業による照明LED化」を検討することを盛り込んだ提案事業が採用されました。単に価格によって事業者を選定するのではなく、民間事業者によるさまざまな実施手法を募るため、公募型プロポーザル方式によって事業者募集を行いました。

結果として1者のみの提案となったことは残念ではありますが、事業者の提案内容は、実現すれば、多くの施設の照明を短期間でLED化でき、施設にかかる電気料金の削減とともに地域脱炭素化が促進される効果などが配慮された提案でした。

提案事業者におかれましては、限られた時間の中、多大な労力と熱意をかけて企画提案にご尽力いただいたことに対し、審査員一同より敬意を表するとともに、深く御礼申し上げます。

令和6年6月14日

公共施設等LED化改修業務（ESCO事業）
公募型プロポーザル審査委員会
委員長 酒田市副市長 安川 智之